

沿革

弊社は昭和 25 年（西暦 1950 年）3 月 1 日に創立し、登記完了したのが 3 月 13 日です。日本が始めて経験する敗戦による失意と、これによる混乱もようやく一区切りつくこととなり、日本の社会が復興へ向けて大きく動き出した頃でした。こうした社会の動きを足がかりにして、創業者の岡部保は貿易商社として事業を興し、社名を互興物産株式会社としました。その後チャーター船等による海上運送が会社を支える事となり、翌 26 年 5 月 30 日社名を互興運輸株式会社として、名実ともに‘運輸会社’として仕切り直したのであります。

以来半世紀にわたり下記年表の通り、着々と運輸会社から貿易物流会社へと歩んでまいりました。

年表

昭和	25 年	3 月	横浜市中区山下町 152 に互興物産株式会社 資本金 200,000 円で創立
	26	5	互興運輸株式会社に商号変更。
	26	8	横浜税関貨物取扱人免許を取得、及びはしけ運送事業認可。
	27	8	海上運送事業認可。
	33	3	横浜市中区住吉町 1-9 に社屋建設。本社移転。
	35	8	東京税関貨物取扱人免許を取得。
	36	7	一般区域（限定）貨物自動車運送事業免許取得。
	39	7	内航海運業の認可を受ける。
	39	8	はしけ運送事業免許取得。
	40	10	一般港湾運送事業免許（海貨限定）を取得。
	45	3	一般港湾運送事業免許（海貨無限定）を取得。
	45	6	横浜税関通関業許可（永久免許）を取得。
	45	11	一般区域貨物自動車運送事業免許取得。
	48	1	内航海運取扱業認可。
	48	7	東京税関通関業許可。
	49	6	本社を横浜市中区海岸通 4-23 原田ビル 3 階に移転。
	51	4	本牧ふ頭 C-4 号上屋保税地域の自主管理指定を受ける。
	53	1	横浜市金沢区幸浦 2-9-33 に輸入自動車保税倉庫を建設。
	54	2	東京都江東区枝川 2-17-12 にて東京倉庫（3 階建て）営業開始。
	55	10	資本金 60,000,000 円に増資。
	56	6	ホストコンピューターとして IBM システム 38 を導入。（現在は IBM i）
	57	9	はしけ運送事業廃止。

	57	12	自動車運送取扱業登録。
	57	12	韓国向けCFS業務を開始。
	63	7	東京税関通関業許可、期限解除（永久免許）取得。
平成	3	5	横浜市金沢区幸浦 2-9-33 にて金沢物流センター(4階建て)営業開始。
	3	5	千葉営業所、横浜税関通関業の許可期限解除（永久免許）取得。
	4	1	貨物取扱業外航海運モード認可。
	5	2	東京地区通関業務を品川区八潮 2-3-10、大井営業所として移転。
	11	3	東京支店を港区西新橋 3-3-3 ペリカビルに移転。
	13	5	千葉市中央区中央港 1-136 に千葉営業所を移転。
	16	3	中国からの CFS 業務契約締結。
	17	8	大井営業所、東京倉庫を統合移転し、江東区青海 2-54 ワールド流通センターに東京物流営業所を開設。
	18	8	本牧出張所を金沢物流センターに移転統合。
	19	8	資本金 90,000,000 円に増資。
	22	12	AEO 特定保税承認者として承認される。
	24	10	AEO 認定通関業者として認定される。
	26	11	東京支店及び東京物流営業所を東京都港区海岸 3-26-1 バーク芝浦 6階に移転。
	28	12	安全性優良事業所（通称：Gマーク）として認定される。
令和	3	7	安全性優良事業所（通称：Gマーク）更新
	4	12	みなと SDGs パートナーとして登録されました。
	7	5	京浜輸出入貨物取扱業協同組合（KYK）と倉庫・事務所の賃貸借契約を締結